

山地博介 ハートリズムセンター長が

6月26日(土)山陽新聞朝刊に掲載され

『不整脈 最前線治療の事情』

について解説しています

こわい? こわくない? 不整脈

不整脈に対する不安は多くの人々が持っています。心臓は「止まれば一巻の終わり」という重要器官と認識されているだけに、ちょっと脈が飛ぶと「このまま私は死んでしまうのではないか」「重い病気が心臓にあるのではないか」と疑心暗鬼

にとられることも。実際、不整脈はどのような点が問題なのか、どう対処すればいいのか、根治療法はあるのか、岡山市の岡山ハートクリニック・ハートリズムセンター長の山地博介医師に聞きました。

最前線治療の事情

普段から自分でできる不整脈の調べ方を教えてください。
おかしいと感じた時や、普段の健康チェックとして検脈をお勧めします。手首の親指すべ下のところに構骨動脈という動脈がありますので、そこを人差し指と中指、薬指の3本で上からそっと押さえて、1分間に何回脈動しているかを計ります。おおよそ60回から80回程度でしょう。不整脈がなければ一定の間隔でちゃんと打っていて、それが自分の正常な脈です。その間隔の間が空いて

1日1回は検脈を

24時間以内に異常発見
間に140回とか150回、疑う必要があります。一回に一気に速くなる場合、何も異常がないときに発作性の頻脈症候群という不整脈は見つかってしまいます。一定の心電図を撮る習慣を



心臓の動きは48時間以上、毎日検脈していれば、異常が24時間以内に発見されます。その時点で病院に来ていただければ、すぐに治療が開始できます。心電図が正常でも、気がつかないままに付けた方がいいです。毎日検脈した方が、日中検脈した方が、異常を発見しやすいです。心電図が正常でも、気がつかないままに付けた方がいいです。毎日検脈した方が、日中検脈した方が、異常を発見しやすいです。

カテーテルを使った不整脈手術の風景
一方、原因がない不整脈、あるいは裏に心臓病がある場合、心臓の動きを調整するカテーテル手術が行われます。これは、心臓の電気信号の伝達経路にカテーテルを挿入し、特定の部分を焼灼することで、電気信号の伝達経路を調整し、不整脈を根治させる治療法です。

正しい知識を持って自己管理
不整脈の治療法には、心臓の動きを調整するカテーテル手術、ペースメーカーの植込み、薬物治療などがあります。それぞれの特徴やメリット・デメリットを理解し、医師と相談して適切な治療法を選択することが重要です。

大半の不整脈は良性

不整脈とはどんなものか、良性か悪性か、治療法は? 多くの不整脈は良性で、特別な治療を必要としない場合があります。ただし、症状がひどい場合や、生活の質が低下している場合は、治療を検討する必要があります。

心房細動に注意

心房細動は、心房が正常なリズムで収縮せず、不規則な速いリズムで収縮する状態です。放置すると心房性血栓症や脳卒中のリスクが高まるため、適切な治療が必要です。

怖がる前に受診を

不整脈の症状が出た場合、怖がる前に医師に相談してください。適切な診断と治療を受けることで、多くの不整脈は根治できる可能性があります。

カテーテル進歩で根治



岡山ハートクリニック・ハートリズムセンター長 山地博介氏に聞く

不整脈の根治を目指すカテーテル手術は、近年大きく進歩しています。成功率が高く、回復も早いのが特徴です。

ペースメーカーの役割は、心臓の電気信号が正常なリズムで伝達されない場合に、人工的に電気信号を送り出すことです。これにより、不整脈を予防し、生活の質を向上させることができます。

